

六GOっ子

心ゆたかで かしく たくましい子

～新団長へ団の引継ぎ式～

1月27日(金)、本校体育館で団の引継ぎ式がありました。はじめに、4団の旧団長が1年間を振り返り、様々な思い出について話してくれました。やはり、運動会で、みんなをまとめる大変さや、団結した時のうれしさが最も心に残ったようです。その後、4名の新団長と副団長より、これからの抱負や決意について堂々とした発表が行われました。

大役を終えた6年生は、これまで遊び集会や運動会での応援合戦、団活動などで下級生をよくリードしてくれました。こうした経験を生かし、中学校でも積極的に活動して欲しいと願っています。



【団旗の引継ぎ】

♪新団長・副団長の紹介と挨拶♪

【いちよう団 団長 吉田拓弥くん】僕は、いちよう団団長としてみんなが仲良く楽しく思えるような団をつくっていきたくと思います。そして、運動会では一致団結して優勝をみんなで勝ち取るために一生懸命がんばります。

【いちよう団 副団長 久保田さやさん】私はいちよう団の副団長として、団長をサポートしたいです。いちよう団をよりよい団にするために、みんなと力を合わせてがんばります。運動会では良い思い出を残せるようにしたいです。私はみんなをまとめたりすることが苦手ですが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。

【すすかけ団 団長 前田健太くん】僕は、すすかけ団を人にやさしく、笑顔いっぱい団にしたいです。そのために、僕は、笑顔で団員に接していきたいです。また、全学年で仲良く助け合えるような団をつくることも大切だと思います。これからもよろしくお願いします。

【すすかけ団 副団長 藤野一男くん】副団長として、一つ一つの壁を乗り越え、団長をサポートするために、自分から行動することが大事だと思います。そのためには自分で判断し、みんなの考えを想像しながら団を盛り上げたいです。一年間、団長やみんなのことを考え、仲良くやっていきたいです。よろしくお願いします。

【かしのき団 団長 阿部 晴くん】僕は、かしのき団を仲良く、みんながいつも笑顔な団にしたいと思います。そして、運動会では、しばらく優勝してないので、優勝できるようにしたいと思います。そのために、低学年の子が分からない事があったら、みんなでお話し、協力し合える団にしたいと思います。

【かしのき団 副団長 武井 睦くん】かしのき団は、最近、優勝までもう一歩のところまできているので、このまま一気に優勝を目指したいです。そのために、団長やみんなをサポートしながら、精一杯練習をやって、運動会で優勝できるような成果を出したいです。

【つつじ団 団長 今野陽生くん】僕は、つつじ団をまとめて、団の中で一番強い団にして、運動会では絶対に優勝できるようにします。団長として自分の仕事を頑張り、副団長も支えていきます。運動会では、大玉転がして1位になって、ぶっちぎりで優勝できるように一つ一つの事をがんばります。

【つつじ団 副団長 佐藤礼菜さん】この一年間、みんなと協力して団を盛り上げていきたいと思っています。そして、運動会では、四年間優勝を逃しているので、今年こそ優勝を目指して一致団結して頑張りたいたいと思います。一年間よろしくお願いします。

学校評価 運動会について

先月号で第2回学校評価の結果を掲載いたしました。今回は、学校評価の中で行った「低学年の運動会終了時間」についての結果をお知らせいたします。

これは、1, 2年生の保護者の方にご意見をうかがい、今後の運動会のあり方についての参考意見とさせていただくものでした。その結果は、次のとおりです。

回答数：93名 内「これまでどおり、閉会式まで参加」：72名(約77%)

「午前中までの参加」：21名(約23%)

この結果から、多くの保護者の方々が、これまでどおりの運動会をご支持いただいていることが分かりました。学校においても、この結果をもとに協議をした結果、次年度も全員が閉会式まで参加する運動会を行う方向です。なお、競技内容や種目数については、今後も検討を進めていく予定です。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

入学説明会を終えて

新入生保護者への入学説明会を2月8日に実施しました。次年度、第六小学校へ入学する新1年生は、男子17名、女子29名、計48名(2/1日現在)の2学級編成となります。児童数については、昨年度より2名減です。本校の入学説明会に先んじて、中学校入学説明会も実施されました。3月23日(木)の卒業式まであと僅かです。

「英語科」、「特別の教科 道徳」で何が変わるの？

過日、平成30年度からの「英語科」「特別の教科 道徳」の実施により、何が変わるのかを尋ねられました。そこで、その時にお話しした内容を簡単にご説明いたします。

現在、5, 6年生が年間35時間実施している「英語活動(外国語活動)」が平成30年度から「英語科」となり、年間70時間実施することになります(現3, 4年生)。それに伴い、「英語活動」を3, 4年生に繰り下げて実施します(現1, 2年生)。

現在は週28時間の時間割(木曜日の6校時：クラブ・委員会を除く)が編成され、高学年では年間35時間の「英語活動」が行われています。3, 4年でも、余剰時間を活用して20時間程度実施しています。これが、平成30年度からは、「英語科」35時間→70時間(高学年)、「英語活動」20時間→35時間(中学年)となります。

そのため、現在の週28時間では、対応することが難しく、週29時間(月曜日も6時間)の案や朝学習の時間に週3日「英語科」を実施する案もあります(15分×3=45分:1コマの授業とする)。また、英語によるコミュニケーション能力を養うという目標は変わりませんが、英語による「活動」の時間から「教科指導」の授業に変わります。

そして、これまで無かった教科書を使ったり、「読む」「書く」「話す」「聞く」ことについてのテストも実施されます。通知表なども文章による評価から他の教科同様の評価が行われるようになります。

道徳については、これまで教科外の学習(領域)という位置付けでしたが、検定教科書を用いた「特別の教科 道徳」に教科化されます(中学校は2019年度)。

これにより、これまでなかった道徳の評価が行われます。この評価は、数値を用いて他人と比較する相対評価ではなく、個々の児童の学習状況や道徳性を認め励まし、成長を促すために「文章」を用いて評価することとなります。

授業についても、これまでの道徳は、読み物資料を中心に主人公の気持ちの変化を考え、自己を見つめる「読み物道徳」の色合いが強かったという反省がありました。今後は、問題解決的学習や体験的学習(ロールプレイング)なども多く取り入れて、指導方法を改善することが期待されています。そのため、答えのない難しい問題(安楽死や臓器移植など)も取り上げられるでしょう。そこには、今話題のアクティブ・ラーニングの導入などが強く意識されていると言えます。

どちらも再来年度の平成30年度からのスタートですが、こうした変化にスムーズに対応していくには、こどもと向き合う時間の確保を最優先にする中で、限られた時間を有効に使って準備を進めなければなりません。そのためにも、現在の校務をスリム化し、教材研究等に充てる時間を十分に確保する必要に迫られています。30年度へ向けて着実に準備を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。